

河鹿園

河鹿園は、割烹旅館だった建物をアートギャラリーとしてリニューアルし誕生しました。1925年に多摩川の北側の土手に建てられ、昭和時代（1926～1989年）に拡張されました。各客室は、畳、床の間、そして装飾品や美術品を展示するための違い棚といった要素が特徴の数寄屋造りのスタイルになっています。杉製の襖や障子などは、贅沢な雰囲気醸し出します。

現在の園主が江戸時代（1603～1867年）から明治時代（1868～1912年）の書画や陶磁器の膨大なコレクションを展示するため、旅館をギャラリー兼喫茶へと生まれ変わらせました。18室ある客室は、時代物の家具や生け花、そして多摩川の景色を楽しむことができるギャラリーになっています。また、大浴場だった場所は、現代美術の展示に利用されたこともあります。受付の隣には、旬の書画を展示した広間があります。河鹿園は、国の有形文化財に指定されています。

河鹿園は、水曜日から日曜日の午前11時から午後4時まで営業しています。入園料は常設展で800円です。